

ママ友 Nちゃん・Sちゃんと語る

本田まきこ

これまでとこれから



Nちゃん

4年前に「選挙に出る」ってまきちゃん(本田まきこ)から聞いたとき、驚きはなかったよ。だってお互いの子どもが保育園に通っていた時だって、がんばり屋で社会活動に熱心だったまきちゃんならやるだろうなって。



Sちゃん

これまではアクションを起こすことはなかったけど、とりあえずまきちゃんに相談してみようと思うようになったのは大きいよ。政治や行政が身近になって市の広報も読むようになった♪

暮らしの現場の声を直接伝えてくれるのはとてもありがたい。ママ友からの相談や、地域の人、ピラを見て相談に来てくれた人の現場の声を行政に届けることで、市役所が変わるってことがあるの。



本田まきこ



Nちゃん

まきちゃんは自分にとって得になることだけ、知り合いの依頼だけじゃなくて、どんな人の話でも聞いてくれて、上手いかわなくても、「こんな問題があるから実現できなかった」って誠実に伝えてくれる。



Sちゃん

みんなの「困った」という声がまきちゃんの戦う原動力なんだよね。朝霞市の経済発展や活性化も大事なんだけど、やっぱりまきちゃんみたいな支え合いの想いを大切に政治家って必要だよ。

子どもが小さかった時にNちゃん、Sちゃんやママ友のみんなが、シングルマザーだった私を偏見なく助けてくれて。私が忙しいからとNちゃんがカレーを作ってくれて、みんなで食べたことを思いだすと感謝で今でもホント泣けてくる。そんな助け合いや思いやりが当たり前の社会になればいいなと思うし、市議会議員として暮らしの声をまだまだたくさん聴いていかなきゃと思うの。これからもいろんな意見聞かせてね。



本田まきこ

本田まきこ

1期目4年間の
取り組み

暮らしを支える制度を提案

- 一人暮らしでも住まいを借り続けられる「居住支援相談」を提案。(2022年度から市は実施した)
- 生活保護受給までのつなぎ資金の貸付制度を提案。(2022年度から市は実施した)



障害のある方への支援を求めました

- 小学校における医療的ケア児への看護師配置を働きかけ。(2023年10月から市は実施)
- 精神障害のある方の暮らしを支える地域包括ケアの推進。(現在、市は福祉事業者との話し合い、連携を始めた)

子ども・子育て支援は道半ば…

- 産前・産後ケアの整備を求めましたが、実現に至りませんでした。
- 不登校の子どもと保護者の支援について取り上げましたが、具体的な取り組みにつなげることはできませんでした。
- 放課後児童クラブの加配職員が不足している状況を明らかにしました。しかし、派遣職員を充てている状況で、今後、直接雇用の職員を配置し、職員研修で保育の質を高めることが必要です。
- 学校での不適切な指導や虐待から子どもの人権を守ることを求めましたが、具体的な制度や取り組みにつなげられませんでした。

フェアな市政を求め厳しくチェック

- 本田まきこが質疑通告した議案は135議案で24人中第3位！質疑から市政の問題点を明らかにしてきた。
- 公共施設の改築・修繕のあり方、予算の使い方など、市のガバナンスのゆるみ・ゆがみを指摘。
- 市民の権利尊重を求め、市の人権侵害事案と人権軽視を議会で指摘。